



建築士

<http://chiba-kenchikukai.com>

2024 Season 59

令和6年4月1日発行

511

CHIBA



～了源寺の鐘楼堂(船橋)～写真提供:中村寿男(船橋)

【会員作品】 会員の作品紹介・91(印旛支部)

【特集】 高須賀晋の作品と持井工務店 / 銚子の地域おこし協力隊 小島さん

【原っぱ】 ～弁護士アジローがゆく～ #8「対決! 笑えないセールスマン! の巻」 / 大工道具

【SDGs・DX】 2030年に向けた国際目標SDGs

【スキルアップ】 『近年の建築士学科試験問題』紹介コーナー

【ご案内・募集】 あなたの「会社」や「仕事・活動」をPRしてみませんか?

【会員の動静】 / 【編集後記】 / 【広告】 脱炭素建材 ナリコー早生桐

出 展：印 旛 支 部

編集 森田 敬介（佐倉） 協力 斉藤 博（印旛）

この度の会員作品は「涼しい夏」で人気が出ている勝浦の週末住宅。仕事の日常と違う時間を求めて、贅沢に建てた別荘の物件です。

☆ 作 品 の D A T A

作 品 名：『勝浦 週末の家』

出展会員：斉藤 博（印旛支部）

設 計 者：斉藤 博

（有限会社 斉藤建築設計）

所 在 地：千葉県勝浦市

竣 工：2012年 5月

用 途：別荘（会社保養所として建築）

構 造：木造二階建（ペントハウス付）

床 面 積：延床 106.81㎡

1階 49.68㎡

2階 52.17㎡

PH階 4.96㎡

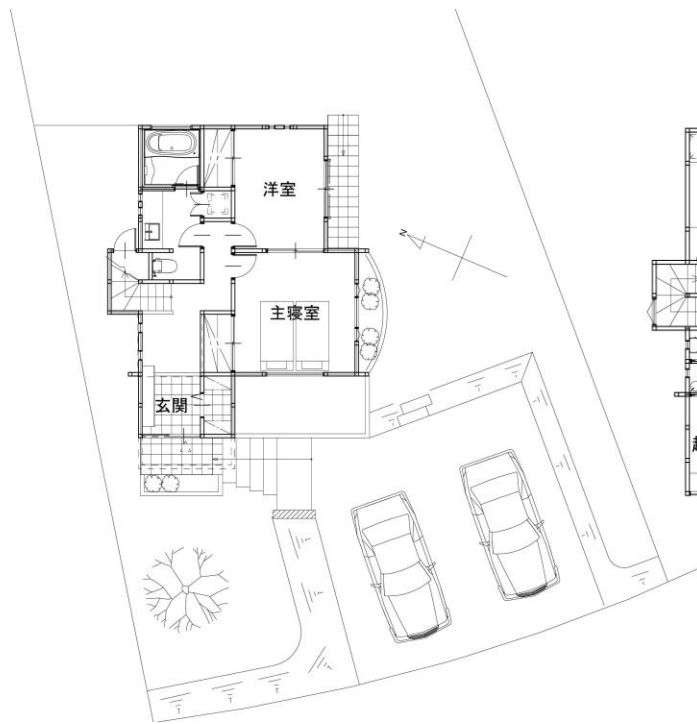
外部仕上：窯業系サイディング

内部仕上：壁 ドライウォール仕上げ

天井 ビニールクロス

床 ウォールナット床材

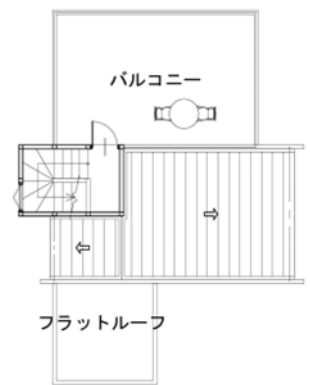
工 事 費：3,000万（土地代含まず）



1階平面図



2階平面図



屋上平面図



外観

☆ 出 展 者 の こ と ば

日頃の仕事から開放されたくて、10年くらい前に週末の家として建てました。場所は今、避暑地(?)として人気の勝浦市です。

勝浦市の山の高台に位置するので、ダイニングの窓・屋上からは外房の理想郷が眺められます。屋上でバーベキューをしたり天体望遠鏡で夜空を眺めていると、仕事のことを忘れられ日頃の疲れが癒された気分になります。建物はとにかく海側の眺めを重視して、遊び感覚満載で建てました。



◎ 広報編集者の感想

別荘の用途としては割と開口を制限されているようですので、かなりプライベート感が欲しかったの
だろうと察します。バルコニーも手摺りが高めで、密かな楽しみの時間が想像できます。

リビングの勾配天井の奥はロフトになっているのでしょうか。何しろとても楽しい週末ですね。

★お願い 作品の投稿は支部名の 50 音順にお願いしています。順番が近付きましたらお早めに各支部
ごとに作品を検討し、必ず掲載期限までに提出して下さい。※次回の出展は海匠支部を予定しています。

高須賀晋の作品と持井工務店

中村 寿男 (船橋)

～新たな建築の水平線へ～

高須賀晋(1933年-2010年)は日本の建築家で、清水建設勤務を経て、高須賀晋一級建築士事務所を主宰しました。



清水建設勤務時の大阪万博のブルガリアパビリオン (持井工務店所蔵)

彼の建築はスケッチ(パース)を描くことから始まり、約10年間に及ぶ写真家の畑亮夫さんと共に日本各地の集落を訪ねた記録も、高須賀さんが建築をつくるうえで大きな糧となったと言われています。



高須賀晋による手書きパース (持井工務店所蔵)

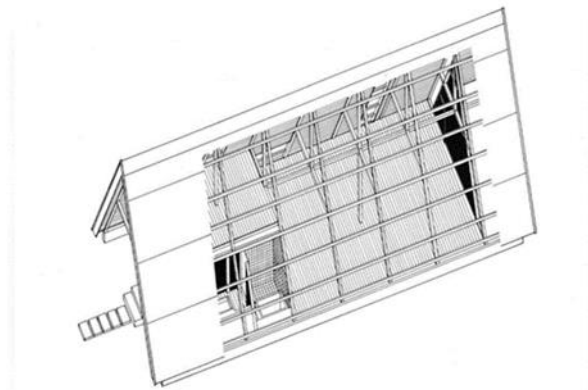
建設された作品は、多岐に及びます。

- ・虹山画荘/ステーキハウス染と茶 (1973、1976)
- ・風騒山荘 (1973)
- ・工学院軽井沢寮 (1980)
- ・生闘學舎 (1980、日本建築学会賞作品賞)
- ・石神井の家
- ・北鎌倉の家 (2002)

- ・高津の家 (1991)
- ・ぎやらりー風土器 (2002)
- ・大北邸 (2002)
- ・鬼高の家 (1979)
- ・多古の家 (1983)
- ・八千代台の家 (2012)
- ・安食の家 (1990)
- ・茂原の家Ⅰ (1991)
- ・茂原の家Ⅱ (1991)
- ・茂原の家Ⅲ (1991)

と、ここでは上げきれないほどの実績を残されています。

ここ千葉県でも、茂原の家Ⅰ(施工=東條工業)、茂原の家Ⅱ(施工=大和久建築)、茂原の家Ⅲ(施工=持井工務店)、安食の家(施工=持井工務店)、大北邸(施工=持井工務店)、多古の家(施工=持井工務店)など多くの作品が残されています。



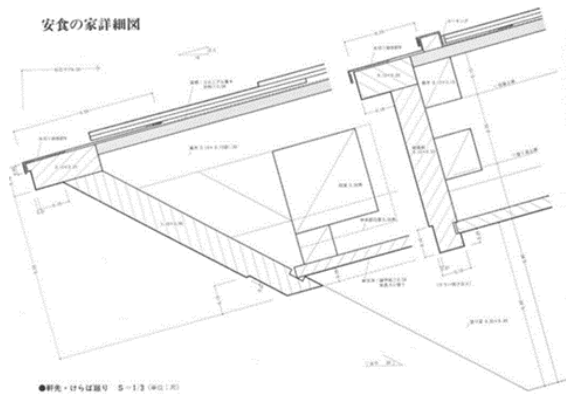
多古の家 (高須賀晋 住宅作品集より転載)

また、「高須賀晋 住宅作品集 —シンプルと〈いき〉— 出版元：建築資料研究社」(現在、絶版しているが、昨年電子版として復刻版が出版された)によると、高須賀晋の一面を覗かせるエピソードが、施主の雑感として記されています。一部を抜粋させていただくと、「高須賀さんは、酒を飲まない人の家の設計は引き受けないという。

昼間、私が最初に亀戸の事務所を訪れた時、高須賀さんは、お茶の代わりにビールを出された。私が酒を飲めるかどうか確かめられたのであろう

か？」このエピソードからも、高須賀晋の設計者としての為人が垣間見えて来ます。

高須賀さんは 2010 年 (平成 22 年) 12 月 16 日、77 歳で亡くなりました。しかし、高須賀晋が追及してきたシンプルな木造美は、これからの木造住宅を考える上で目標となり永遠の輝きを放ち続けるであろうと思われます。



安食の家 (高須賀晋 住宅作品集より転載)

さて、タイトルにあるように、なぜ、高須賀晋と持井工務店なのか疑問に思われているかもしれません。

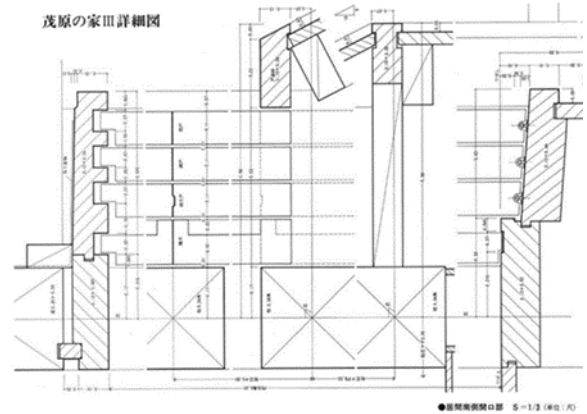
人の縁は、不思議なもので、拙宅の設計・施工 (当時、自分は、心を病んでいて設計どころではない状態でした) を約 20 年前に憧れの持井工務店に設計を含め依頼することになったのです。

近頃になって、拙宅のメンテナンスをお願いした際、「高須賀さんの図面の原紙は、うちに保管されていますよ。」と、現社長である持井大輔さんから伺いました。

先にも書いたように、持井工務店が手がけた高須賀晋の作品には、「茂原の家Ⅲ」、「安食の家」、「多古の家」等がありますが、ここで持井工務店について、説明させていただきたいと思います。

持井工務店は、千葉県船橋市高根 (船橋市のほぼ中央部で、周りは、畑や梨畑が広がっています) に事務所がある工務店です。特に、自然素材を使った木の家の設計施工に力を入れており、すべて自社大工による手刻みで家を建てています。因みに、

拙宅も同様に施工されました。その時の棟梁が現社長の持井大輔さんです。



茂原の家Ⅲ (高須賀晋 住宅作品集より転載)



持井工務店の施工 (持井工務店の写真集より)

持井工務店の家づくりの考え方は、「きもちのよい家に住みたい」は住む人の思いであり、「きもちのよい家をつくりたい」は彼らの思いであるというものです。そのため、ひとつひとつ丁寧に誠実に家づくりを行っています。そのこだわりは、半端なく拙宅の設計時にも先代社長と意見がぶつかったのを懐かしく思います。

持井工務店の家づくりの考え方は、いろんな媒体から知ることができますが、今、現在の持井工務店の力強さを知る機会があったので、紹介したいと思います。

平成 6 年 1 月某日、持井工務店の作業場で、餅つき大会が行われました。この餅つき大会は、コロナ禍の中 4 年間中断されていたそうですが、コロナの規制緩和により、今年から再開されました。

この催しは、施主の家族をはじめ、持井工務店の社員、取引業者が一同に集まり、つきたての餅を頬張りながら、新春のひと時を楽しむという会です。

持井工務店の若手の大工さんたちが、餅をつき、マグロのかまを炭焼きした物やつきたての餅をいろんな薬味で振る舞っていただけます。



持井工務店社長 持井大輔さんとスタッフ

このように楽しいひと時を過ごしてきました。すべての写真は、紙面上掲載できませんが、何か気づくことがある様に思います。



施主の家族を含め、老若男女がいい顔をして、この時間を共有し、仕事を通じてだけでなく、若い世代に技術や伝統が継承されている様に、そこに、持井工務店の底力が感じられます。まさに、建築の水平線に向かって、一直線という感じです。



餅つき大会の風景

さて、持井工務店の自社設計・施工は、どうなのでしょう？残念ながら、個人邸が多いため、会報誌に公開することは、差し控えます。ここでは、拙宅の工事写真を持井工務店から拝借できたので、それらの写真を掲載して行きたいと思えます。(私観ですが、かなり赤面するところがありますが)

持井工務店が手掛ける住宅は、拙宅よりもかなり大きな住宅が多く、そのため、その全てを語ることはできません。また、建設期間は、2013年9月から2014年4月であり、かなり前の例となっておりますが、ご容赦いただければと思います。



丸太通し柱

丸太の通し柱があったり、登り梁があったりと、今の在来工法から見れば、かなり違うところがあります。例えば、なぜ、登り梁なのか？実は、我が家の2階居室には、天井板が張られていません。天井板は、屋根の野地板現しです。また、軒高を低く抑え、全体のコストダウンを図っています。

もちろん、この様なことも、先代の社長持井貞城さん設計によるものです。当時の自分は、この人すげーなという感じと、頑固親父だなという感じが入り混じったものでした。また、棟梁は、当時、20代の現社長の持井大輔さんです。記憶は、定かではありませんが、持井大輔さんが修行先から持井工務店に戻り、棟梁としての最初の現場が、拙宅だったように記憶しています。延床面積40坪の小さな家ですが、設計者である先代社長の持井貞城さんのこだわりが半端なく、棟梁として、悪戦苦闘されていたのを忘れることはできません。



玄関ホール



小屋裏の登り梁



LD 全景

最後になりますが、掲載にご協力いただいた持井工務店社長持井大輔さん、設計部長高地典晃さん、並びに転載を許諾いただいた建築資料研究社様に深い謝意を申し上げます。

銚子の地域おこし協力隊 小島さん

高椋 靖浩（銚子）

銚子市で地域おこし協力隊で活動している建築士である小島大成さんにお話を伺いました。

小島さんのプロフィールについて

小島大成（おじま たいせい）さん（24）は地域おこし協力隊は銚子市の魅力などの情報発信を行いながら大工（見習い中）の仕事をしています。前職で二級建築士を取得していて昨年からは千葉県建築士会銚子支部に入会されました。

出身は宮城県で高校を卒業してから建設会社に就職、東京で4年間勤務した後に退職を機に2年前に東京から銚子に移住。昨年の2月に結婚、現在は夫婦二人で銚子に暮らしています。

銚子電鉄駅舎のリノベーションについて

銚子市内を走る銚子電鉄の笠上黒生駅の駅舎は100年近い歴史があります。老朽化が進み安全面でも問題がありました。小島さんは昔からの風情を残すことを考え計画し建築業者に依頼しました。痛みが激しい外装の改修を中心に始まりました。

小島さんは職人さんと一緒になって作業を行い、地元の高校の生徒とペンキを塗ることもあったそうです。



銚子電鉄 笠上黒生駅舎

地域おこし協力隊で銚子市を選んだ理由

「移住先に銚子市を選んだ理由は、地域おこし協力隊が決まったきっかけで移住してきました。知人が銚子に遊びに来ていた時に知り合った市の職員から協力隊の募集を知りました。」締め切りの三日前だったそうです。



「生まれが田舎の方だったのであまり東京の環境に合わなくて以前から、もの作りに興味があり、いつか地方に移住して、大工の仕事をやりたいと思っていました。

なかなか踏み出せずにいた時に、協力隊の話聞いて、多少の生活の保障もあって協力隊の活動をすることが面白そうだなって思いました。ちょうど同級生たちも大学卒業して就職するタイミングだったので心機一転するには今しかないと思い移住して協力隊になることを決めました。縁があって銚子に来たって感じです。移住をすることに彼女（現在妻）を説得することが大変でした。最初はなかなかハードルが高かったですけど、何とか説得しまして移住することが出来ました。」

地域おこし協力隊の活動について

「主な活動は銚子電鉄の笠上黒生駅の駅舎のリノベーションに携わっています。改装工事している様子をSNSに情報発信しています。同時に図面作成や施工会社と共に大工の仕事をしています。」

「他の地域おこし協力隊員は、苦勞している人は少なくありません。なかなか移住した地域で能力が発揮できないまま任期が終わってしまう人が多いと思います。情報発信をという仕事しながら地域の

イベントに借り出されたりして 3 年間終わってしまい、銚子市が雇用するわけでもなく、その場を去るパターンが多いですね。本来であれば協力隊が任務終了後、定住する目標はありますが、任務終了後に仕事につながらず結局生活はできないので出ていくと思いますね。情報発信だけでは任期終了する 3 年後に、よほどのインフルエンサーとか動画クリエイターとかじゃない限りは収入を得ることは難しいです。」移住先での職業を見つけられず任期が終わってしまう人が多い中で小島さんは大工という職を身に着け定住を目指しています。小島さんはその役割としてきちんと確立できているのが、全国的に見ても成功している方だと思います。

協力隊の中間や交流について

「現在銚子市には現役の地域おこし協力隊は二、三十代の人達が 10 人位います。協力隊の人たちで年に四、五回は集まっていますが隊員ごとに様々な分野で活動しているため交流は意外に少ないです。

例えば同期の方ですが協力隊になる前からローカル鉄道のコンサルを行う会社を起業していて、いろんな地域に仕事に行くことも多く、そのように他の地域で活動している人もいるのでなかなか会えない人もいます。」

地域の人の交流について

「やはり建築関係の仕事の人たちとご飯行ったり飲み行ったりっていうのが多いですね。銚子の方は、みんなすごく歓迎してくれています。最初は心配していましたが優しく受け入れてくれました。それはすごく嬉しいことでした。そんな思いもあり定住したいと思いました。銚子の荒らしい浜言葉も地元の宮城も太平洋側なのでそんなに気にならなかったですね。」

活動で苦労したことはありますか

「協力隊の特に情報発信だけだと雇用につながる難しさはありますね。最初悩みましたね。情報発信で来ているのに大工を職業にすることを銚子市職員に中々言えませんでした。自分の場合は大工を目指している事があったので良かったのですが、他の隊員は苦労や不安はあると思います。そこまでの高い目標もなく何をしたら良いかわからないまま 3 年後の不安っていうのもあると思います。」



銚子電鉄 最終駅の外川駅舎

今後の目標など、お聞かせください。

「今後も銚子電鉄の駅舎のリノベーションだけではなく地域の問題である空き家の活用の企画など行いながら大工の修行をしていきたいと思っています。古い住宅（古民家）などにも興味があります。今年の歴史的建造物保存活用の専門家の講習を受けて勉強していきたいと思っています。そして、この銚子で住宅施工を行う建設会社を起業することです。」

取材してみて

地域おこし協力隊の 3 年後に定住の目指すこと大変さ、隊員の不安を抱えていることを知りました。小島さんの活動に大いに期待したいと思います。



『近年の建築士学科試験問題』

紹介コーナー

堀口 智子（夷隅）

下記は、令和5年一級建築士学科試験において出題された問題です。設問の記述が、**適当か不相当か**を考えてみましょう。

【問題】

プロジェクト達成にとってのリスク(不都合な情報)の積極的な共有による集団内での意思疎通をリスクコミュニケーションといい、その実践が特に重要である。

現代社会においては、社会の複雑化・国際化などに伴い多様な価値観や生活スタイルが生まれ、それに従い多種多様なリスクが顕在化してきています。企業や団体、個人がどのようにリスクと向き合っていくのか、すなわちリスクマネジメントをどう行うのかが大きな課題となっています。

設問のリスクコミュニケーションという言葉は、化学物質のリスクとしてダイオキシン問題や環境ホルモン問題が社会的に取り上げられたことを契機に、頻繁にマスコミに登場するようになりました。解答・解説は下記をご確認ください。

【解説】

設問の記述は適当である。リスクコミュニケーションとは比較的新しい概念で、プロジェクトの達成にとってのリスク(不都合な情報等)を、集団内で積極的に共有し意思疎通を図っていくことである。職業倫理の観点からも、集団内において負の隠蔽体質を乗り越え、リスクコミュニケーションを積極的に行い、不祥事や社会的損失の抑制・防止、公共の福祉に努めることが、建築士等の専門技術者にも求められている。



あなたの「会社」や「仕事・活動」 をPRしてみませんか？

広報誌を今以上に会員の皆様に活用いただきたく、こんな企画をスタートさせます！

題して、

「私の！うちの！事務所・作業場自慢」

広告宣伝費は無料です。(ただし、会員限定)

「私の事務所は、こんな工夫をして快適に仕事できる空間を作っています」「うちの作業所は、道具がたくさん揃っていてとても便利です」「所員でワイワイガヤガヤ楽しくやっています」など、何でも結構です。是非、自慢してください！

文章他、画像・動画・イラスト・漫画等、表現方法は問いません。奮って投稿お待ちしております。

書き方・作り方が解らない方は、広報委員会企画・取材班が全面サポートしますのでお気軽に、お問合せください。

ホームページアドレス

<http://chiba-kenchikushikai.com>

発行者：(一社)千葉県建築士会

編集者：広報委員会

〒260-0013 千葉市中央区中央 4-8-5 建築会館 4階

TEL 043-202-2100 FAX 043-202-2101

Mail : LEB02573@nifty.ne.jp

令和6年4月1日発行

2030年に向けた国際目標 SDGs

企画・取材班 堀口智子

近年、注目されている SDGs は、私たちにどのような関わりがあるのでしょうか。ここでは簡単に、SDGs の概要と企業が SDGs に取り組むメリットについてご紹介します。

● SDGs (Sustainable development goals:持続可能な開発目標)とは？

国際社会が 2030 年までに貧困などを撲滅し、「誰一人取り残さない」ことを掲げ、持続可能な開発を実現するための重要な国際目標とされています。17 目標(ゴール)と 169 のターゲットで構成されており、ゴール 7、8、11、12 などには特に建築業界と関わりが深い目標です。



その枠組みとして以下 4 点があげられます。

- ① 持続可能な開発のための 2030 年に向けた国際目標
- ② 全ての国、全ての地域に普遍的に適用
- ③ ゴール・ターゲット・インディケーターの三層構造
- ④ 進捗状況のモニタリングと評価

★ SDGs (17 ゴール)

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

● 企業がSDGsに取り組むメリットとは？

近年、多くの企業が SDGs を掲げ、積極的な取組を社会にアピールしています。その理由としては、勿論、国際目標である持続可能な開発を目指して取組を行っている企業もありますが、中には企業の「イメージアップ」のために SDGs を活用している場合も少なくありません。では、SDGs によりイメージアップをすると、どのようなメリットが考えられるのでしょうか。

1. 受注アップにつながる

SDGs を重視する傾向は、一般消費者にも広がり、社会的なリテラシーの向上により、案件の発注先を選ぶ際にも「SDGs に取り組んでいる企業なのか」を意識する人や企業が増えています。

2. 若手の採用につながる

SDGs への関心は、20 代が最も高く、若い世代ほど社会的課題の解決に意識を持っており、「その企業に勤めることで、自分はどの社会に貢献していけるか」を重視しています。SDGs への取り組みは、若い世代から選ばれる要素として必要となってきました。



～弁護士アジローがゆく～#8

「対決！笑えないセールスマン！の巻」

網代 真治（市川・浦安）

皆さん、こんにちは。市川・浦安支部の網代(あじろ)です。普段は弁護士をしています。対話劇で法律と建築に関する記事を連載させていただいております。

今回は第8回目。ご好評につき、今回は2頁の長編でお届けします。今回の登場人物はこちらです。

【今回の登場人物】

A：アジロー弁護士。建築士CHIBAに連載記事を持っている。

B：建築士さん。Aの飲み友達。Cの息子。

C：一人暮らしのおばあちゃん。悪質リフォーム業者とリフォーム工事契約を締結してしまう。

D：悪質リフォーム業者。契約内容が悪質すぎて笑えないことから「笑えないセールスマン」の異名を持つ。

おや、向こう側から全身黒づくめのスーツに身を包んだ一見紳士然とした男性（D）が歩いてきます。左手には大きなダレスバッグを持ち、何かつぶやいているようです…。

D「…私は人呼んで笑えないセールスマン。ただのセールスマンじゃございません。私の取り扱う品物はリフォーム、悪質リフォームでございます。さて、今日のお客様は…。ホーホッホッ。」

「ピンポーン。」

(D、閑静な住宅街の一角にある一軒家の玄関チャイムを押す。玄関から一人暮らしのおばあちゃんであるCが出てくる。)

C「はあい。どちらさまでしょうか。」

D「ホーホッホッ。ごめんくださいませ、奥様。私、こういう者です（D、名刺をCに差し出す）。」

Dの差し出した名刺にはこう書かれていた。

～屋根のスキマ、お埋めします～

C「屋根のスキマ、お埋めします…?」

D「奥様、私、リフォーム工事のセールスマンなんです。どうもお宅の屋根に問題がありそうでしたので、こうして声を掛けさせていただいたのですよ。」

C「まあ!?うちの屋根に何か問題が?」

D「遠目で見ただけなのではっきりはわからないんですがね、よろしければお宅の屋根を直接確認させてもらってもよろしいですかね?もちろん点検は無料ですよ、ホーホッホッ。」

C「ええ?そんな、ご親切にありがとうございます。」

ちょっと待ってくださいね、今ハシゴを持ってきます。」

(D、ハシゴを使ってC宅の屋根の上に登る。)

D「んしょんしょ。ホーホッホッ。こちらのお宅は瓦葺きの屋根ですね。経年劣化もほとんど見られません。さぞかし良い施工業者だったのですね。さて、それでは…。」

(D、スーツの内ポケットからトンカチを取り出す。)

D「ホーホッホッ。私がこのトンカチで何をするか、読者の皆さんはおわかりですか?正解は…。」

(D、なんとトンカチで瓦を叩き壊していく!)

D「トンカチで屋根をドーン!トンカチで屋根をドーン!」

(C、庭から屋根の上のDに声を掛ける。)

C「Dさん、屋根の具合はどうですか?」

D「奥様、これはいけませんよー!詳しいお話はお宅の中で話します!」

C「ええ!大変!ささ、お上がりになってください!」

(DとC、C宅の客室へ移動する。D、Cに出されたお茶をすすりながら語り出す。)

D「奥様、やはり私の見立て通りでした。屋根瓦は何枚も割れてしまっていてスキマだらけです。残念ながら、新築の施工業者があまりいい業者ではなかったみたいですね。この分ですと防水紙や野地板も手抜き工事がされていて、これから雨漏りの心配があるかもしれませんよ。」

C「ええっ!そんな!雨漏りですって!?どうしたらいいのかしら!」

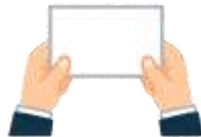
D「ホーホッホッ。いいえ、ご心配なされる必要はありません。そのために私のようなリフォーム業者がいるのですから。さっそく屋根の葺替え工事を手配いたしましょう。最高級の瓦で全面葺替えといきましょう。今なら自治体の助成金も出るかもしれませんね、ホーホッホッ。では、こちらの契約書に署名と押印をお願いいたします。」

C「本当に助かったわ!ありがとうございます。」

(C、Dの差し出した契約書に署名と押印をする。D、満足そうな笑みを浮かべる。)

D「ホーホッホッ。それでは、今日のところはこれで失礼いたします…。」

場面は変わり、弁護士アジロー（A）の法律事務所。応接室でA、B建築士、Cが話し合っている。



B 「・・・というわけなんです、
A先生。久々におふくろ
の顔を見に行ったら、訪
問販売のセールスマンと
屋根のリフォーム工事契
約をしたんですよ。」

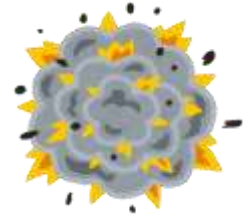


- C 「ごめんねえ。」
B 「だいたい、おふくろの家を設計したのは俺、施工
したのは俺の知合いの工務店じゃないか。息子が
信じられないなんて、俺は悲しいよ。」
A 「まあまあ。」
B 「で、A先生、問題なのはリフォームの金額なん
です。この契約書を見てくださいよ。」
A 「・・・ふむふむ、エッ!? 請負代金が1000万
円!? これは悪質すぎて笑えないですね。」
B 「施工はまだですが、契約書は作成してしまっ
てるし、もう支払うしかないんですかね?」
A 「ふーむ。Cさん、その黒ずくめのセールスマン
から交付された書類はこの契約書だけですか?」
C 「ええ。」
A 「ふむふむ、なるほど。この内容だったら何とか
なりそうですね。D達がリフォーム工事に来る際に
直接対決をしましょう!」
B & C 「先生、お願いします!」

再び、場面はC宅に変わる。Dがリフォーム業者を
複数名連れて玄関チャイムを押す。

- 「ピンポン。」
D 「ごめんくださいましー、奥様。Dでございます。
屋根の工事に伺いました。早く開けてくださー
い。」
(玄関ドアが開き、Aが出てくる。左手には六法全書
を持っている。)
D 「おや、どちら様でしょうか?」
A 「私、弁護士のアジローと申します。あなたがCさ
んにリフォーム話を持ちかけたセールスマンで
すか。」
D 「おやおや、弁護士さんが何の御用ですかあ?」
A 「Cさんとのリフォーム工事契約を解除しに参り
ました。」
D 「ほう、何を根拠に契約を取り消すおつもりで
すか? 約束は守っていただかなければいけません
よ?」
(A、左手の六法全書を掲げ、呪文を唱え始める。)
A 「全集中、法の呼吸! 特定商取引法9条1項要件充
足確認! 発動! クウウウリイング・オ
フ!!!」
(Aの「クウウウリイング・オウフ!」の叫び声と
ともに、突然六法全書から光があふれ出し、あたり
一面まばゆい光に包まれていく・・・!)
D 「ほう、クーリング・オフですか・・・。たいしたもの
ですね。ですが、A先生、ひとつ忘れていません

か? クーリング・オフは8日以内に行使しなけれ
ばならないという期間制限
があるじゃありませんか
(特定商取引法9条1項)。
今日はもう契約をしてから
1か月が経っています。ク
ーリング・オフは私には効
きませんよ! ドーン!!!」



- (D、人差し指をAの顔に向けて叫ぶ。Dの指先から
邪悪なエネルギー波が放出され、Aに命中し爆発す
る!)
D 「ホーホッホッ。少々やりすぎましたね。ミンチに
なっていましたか。」
A 「・・・おい、何を勘違いしているんだ?」
(爆発の煙が晴れたとき、そこには無傷のAが立っ
ていた!)
A 「たしかにクーリング・オフは8日以内に行使しな
ければならない。しかし、それは業者が特定商取
引法5条及び4条で定める書面を交付してから
8日以内という意味だ! そして、Dさん、あなた
の契約書は特定商取引法の要件を充足していな
かった。だから、契約から1か月経とうが、クー
リング・オフはまだ行使可能なんだ! (筆者注:
契約から1年経過後のクーリング・オフを認めた
裁判例もあります。) 食らえーッ! クウウウリ
イング・オウフ!!!」
D 「グワァァァァ! し、しかしタダではやられませ
んよ! A弁護士! あなたの弁護士費用がおまん
じゅうになる呪いをかけてあげます!! ドー
ン!!!」
A 「う、うわああああ!」

(静寂が戻ったとき、Dやリフォーム業者の姿は消え
ており、リフォーム工事契約書は燃え尽きて灰にな
っていた。)

- C 「先生、どうもありがとうございました。これ、弁
護士費用のおまんじゅうです。」
A 「ありがとうございます。事件は解決、私はおまん
じゅうをもらえて、めでたしめでたしですね。で
も、あれ、涙が出るのはどうしてだろう・・・?」
(A、おまんじゅうを頬張りながら涙を流すのであ
った。)

実際のクーリング・オフは呪文の詠唱ではなく内容
証明郵便等の書面を発送して行使しましょう。

なお、弁護士アジローは創作上の人物であり、架空
の弁護士です。

Ende



大工道具

鈴木利志勝（海匠）

工事、作業現場などで目にする『緑色のテープ』をご存知ないですか。その緑色のテープが養生テープです。建築現場作業ではメジャーなテープですが、現場作業の他にも台風対策と引越し作業、DIYと色々便利な使い方ができます。



カラフルな養生テープ

養生テープは、ものを束ねるときや一時的な固定など幅広い用途で使えるテープです。はがす前提で作られており、糊残りが少ないのが特徴です。しかし長時間にわたって貼り付けて固定する目的で作られておらず固定する時間が長くなってしまふ、経年している塗装品などに貼り付ける場合には糊残りや表面のキズなど注意が必要です。また手で簡単に切れるようになっているので、ビニールテープのように資材をガッチリ束ねる、梱包作業に向いていないことにも注意が必要です。

窓ガラス台風対策

養生テープを窓ガラスに”米の字状”に貼り付けると、ガラスの飛散防止のなりケガをするリスクを減らせます。なお台風が日本に接近する時期には品切れになる店舗があるので注意が必要です。

引越し作業

養生テープを収納ケースやタンスの引き出しなど開閉部に貼り付けておくことで運搬時に飛び出してくることを防ぎ、電気コードなど長いものを束

ねるのにも便利です。また油性マジックで文字を書くことができるので中身の識別ができます。



コードを束ねる



階段の角を養生

DIY

電気丸ノコで材木を切って小口（切断面）のバリが気になることはありませんか。養生テープを材木に貼り付けて養生テープとともに材木を切断するとバリの軽減になります。またフロア材、棚板などを化粧面からカットしたい場合は化粧面に広めに貼り付けることで、面の保護とキズ、バリ対策と両方の効果があります。そして切断する材料がよごれている、古材など丸ノコのベースにキズがつくおそれがある材料を切断するときにベースに貼り付けると簡易的な保護材としても使えます。



面の保護、バリ対策

養生テープは使い方次第で多様なところで活躍できる便利アイテムなので、様々な可能性を追求していきたいです。

～了源寺の鐘楼堂（船橋）～

中村 寿男（船橋）

了源寺は千葉県船橋市宮本にある浄土真宗本願寺派の寺院です。この寺院は、足利13代将軍義輝に仕えていた天野中務大輔藤原朝臣匡親卿（釈伝翁）が、義輝暗殺後に剃髪して出家し、当寺を創建したと伝えられています。

了源寺の境内には鐘楼（現在は鐘楼堂がある）があります。この鐘楼はもともと幕府が試射用の大砲を設置するために築いた台座跡でした。

幕府の砲術射撃は享保年間（1716～1736年）にここから東方の野原に向けて行われていました。その後、砲台跡に船橋代官だった小宮山奎進の勧めで鐘楼堂が建てられ、幕府から「時の鐘」の公許を受け、明治4年まで船橋一帯に時を告げていました。

境内の鐘楼の石垣の下には戊辰戦争の戦いで戦死した幕府軍兵士「菅野鋭亮」の墓があります。船橋では市川・船橋戦争の後、官軍・幕府軍に関わらず、戦死者の弔を行ったとされていますが、幕府軍を「脱走様」と敬称を付けて葬った船橋の例は全国的にも珍しいと言われています。

船橋市の文化財として「鐘楼堂跡」と共に、その「時の元となった和時計」、および江戸の文人「蜀山人筆の鐘の音を詠んだ掛軸」が保存されています。

了源寺は、船橋市宮本にある歴史的な寺院であり、多くの人々に愛されています。

～会員の動静～

令和6年1月2日～令和6年2月1日

会員数（1,584名）

1) 会員の異動

（勤務先の変更）

○船 橋 椿 奈緒美 葵建築設計㈱

【建築士 CHIBA 1月号の訂正】

1月号の会員の動静 新会員の記載に、氏名の誤りがありました。下記の通り訂正させていただくと共にお詫び申し上げます。

1) 新会員

誤：○松 戸 奥田 明久 松戸市松戸新田

正：○松 戸 村田 英樹 松戸市松戸新田

～編集後記～

『建築士 CHIBA』ってなんですか？

そんな私が広報委員となり、2年目となった。広報委員会は月一開催が基本だ。

企画、取材班と編集班、校正班がそれぞれ協力する“カタチ”で討議している。

そして毎号、武田委員長をはじめとして広報委員会の熱い思いが詰まっている。

“建築士 CHIBA”手に取ってみませんか？

鈴木利志勝

脱炭素建材 ナリコー早生桐

ナリコー早生桐は、早生樹（早く成長する樹木）の一種で5年から6年で成木になります。
1年間のCO₂の吸収量が大きく、従来の杉・桧に比べても数倍から十数倍もの吸収能力があります。
建築物に使用することは、地球温暖化防止に貢献したことになります。
建材としての性能は、強度をはじめ従来の桐と同等の性質を有しており、比重が軽く、
調湿性能や断熱性能が高いうえに、消臭能力や柔らかい肌触りなどを持ち合わせます。
これらの性質を活かして、建築内装材や建築合板などへの活用が期待されます。
ナリコー及びナリコーから苗の提供を受けた企業では、千葉県をはじめ全国各地で植林を行っており、
2～3年後には、建材として市場に供給する予定です。



2023年4月

早生桐伐採木・樹齢9年・直径45cm



2023年10月

早生桐の建材サンプル、左写真の伐採木を加工



2023年10月

建築士会全国大会しずおか大会に出展



2023年11月

成蹊大学と共同研究。根まで掘り取りし、細断し、実験室で
固定炭素量測定。CO₂吸収量推定。樹齢3年半のナリコー早生桐

本文に関するお問い合わせ先

株式会社ナリコー

所在地：〒286-0117 千葉県成田市三里塚光ケ丘1番地1331
TEL: 0476-37-5560 FAX: 0476-35-5360

CSR推進室 担当：石塚・杉山

Mail: info@narikoh.co.jp URL: <https://www.narikoh.co.jp/>



人と心、地域をつなぐ



ナリコーファーム



ナリコーファーム 沖縄

